

適正な水道料金水準の検討 に係る審議の進め方について

令和6年12月
白岡市上下水道部

水道事業の経営と水道料金について

<水道法>

第1条 この法律は、水道の布設及び管理を適正かつ合理的ならしめるとともに、水道の基盤を強化することによつて、清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もつて公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与することを目的とする。

第14条第2項第1号 料金が、能率的な経営の下における適正な原価に照らし公正妥当なものであること。

<地方公営企業法>

第3条 地方公営企業は、常に企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されなければならない。

第21条第1項 地方公共団体は、地方公営企業の給付について料金を徴収することができる。

第2項 前項の料金は、公正妥当なものでなければならず、かつ、能率的な経営の下における適正な原価を基礎とし、地方公営企業の健全な運営を確保することができるものでなければならない。

まとめると、水道料金は、

能率的な経営の下、適正で、公正妥当で、低廉な料金であり、
かつ企業の健全な運営を確保できること。

料金改定の審議の方法

<基本的な考え方>

水道料金算定要領(公益社団法人日本水道協会)に基づく、「総括原価方式」によって料金水準を検討する。

総括原価方式 とは

料金算定期間中における給水サービスに必要な費用(総括原価)を推計し、推計した総括原価を賄える料金水準とする算定方法

料金算定期間

料金の安定性、期間的負担の公平、減価把握の妥当性などを考慮し、おおむね将来3年から5年を基準に設定する。

今回の料金改定の検討では、
令和8年度から令和12年度までの5年間を算定期間とする。

総括原価について

総括原価とは

次の①、②の合計を総括原価という。

①誠実かつ能率的な経営をした上で必要な営業費用

②事業の健全な運営を確保するための資本費用

①営業費用

既存の水道施設による給水の
ための原価

→今、必要なランニングコスト

- ・人件費
- ・動力費
- ・修繕費
- ・受水費
- ・減価償却費
- ・その他維持管理費 など

②資本費用

給水サービス水準の維持向上と
施設実体の維持に必要な利益

→水道施設の維持（存続）
に必要なコスト

- ・企業債利息
- ・資産維持費（将来にわたって必要となる改修、更新や企業債償還などに充てる費用）

資産維持費は必要なのか

資産維持費 … 将来にわたって必要となる改修、更新や
企業債償還などに充てる費用

「将来」の費用を、料金に転嫁する必要があるのか。

資産維持費を計上しなかった場合は…

計算上、ランニングコストと施設の建設当時と同額の改修、
更新工事には対応できる。



言い換えれば、

- 物価、工事費の高騰や金利上昇には対応できない。
- 品質の向上、技術の向上には対応できない。

資産維持費を計上しないと…

具体例

昭和60年に1億円で整備した石綿セメント管を更新したい。

物価面

昭和60年と令和5年を比較すると、上・工業用水道の建設工事費は、約63.4%増加している。

品質面

当時は安価な石綿セメント管でよかったが、現在は耐震性が求められる。石綿セメント管より高価な、铸铁管などを使用する必要がある。

当時と同じ1億円では、同規模の施設更新はできない。更に、要求品質の向上により、より高価な材料や技術の使用が求められる。

 適切な資産維持費が計上されていないと、施設更新ができない。

資産維持費の計上方法

将来の費用を全て適切に見込むのは難しいが、
現時点において想定すべき資産維持費は計上すべきと考える。



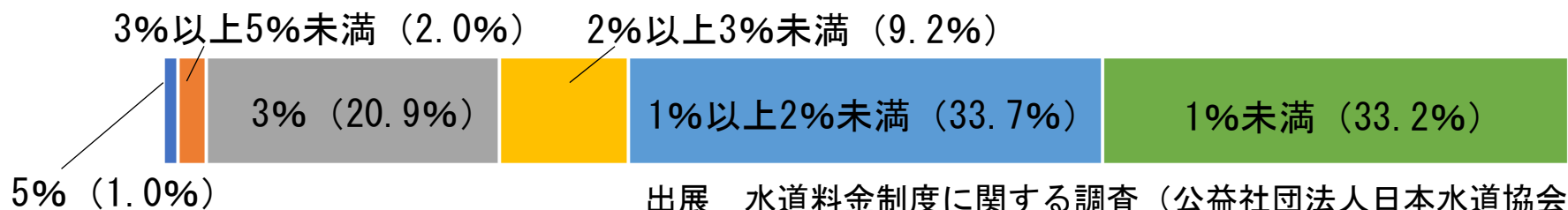
- ・ 安心・安全な水道水供給の維持
 - ・ 将来世代との負担の公平化
- などにつながる。

算定要領における資産維持費の算出方法

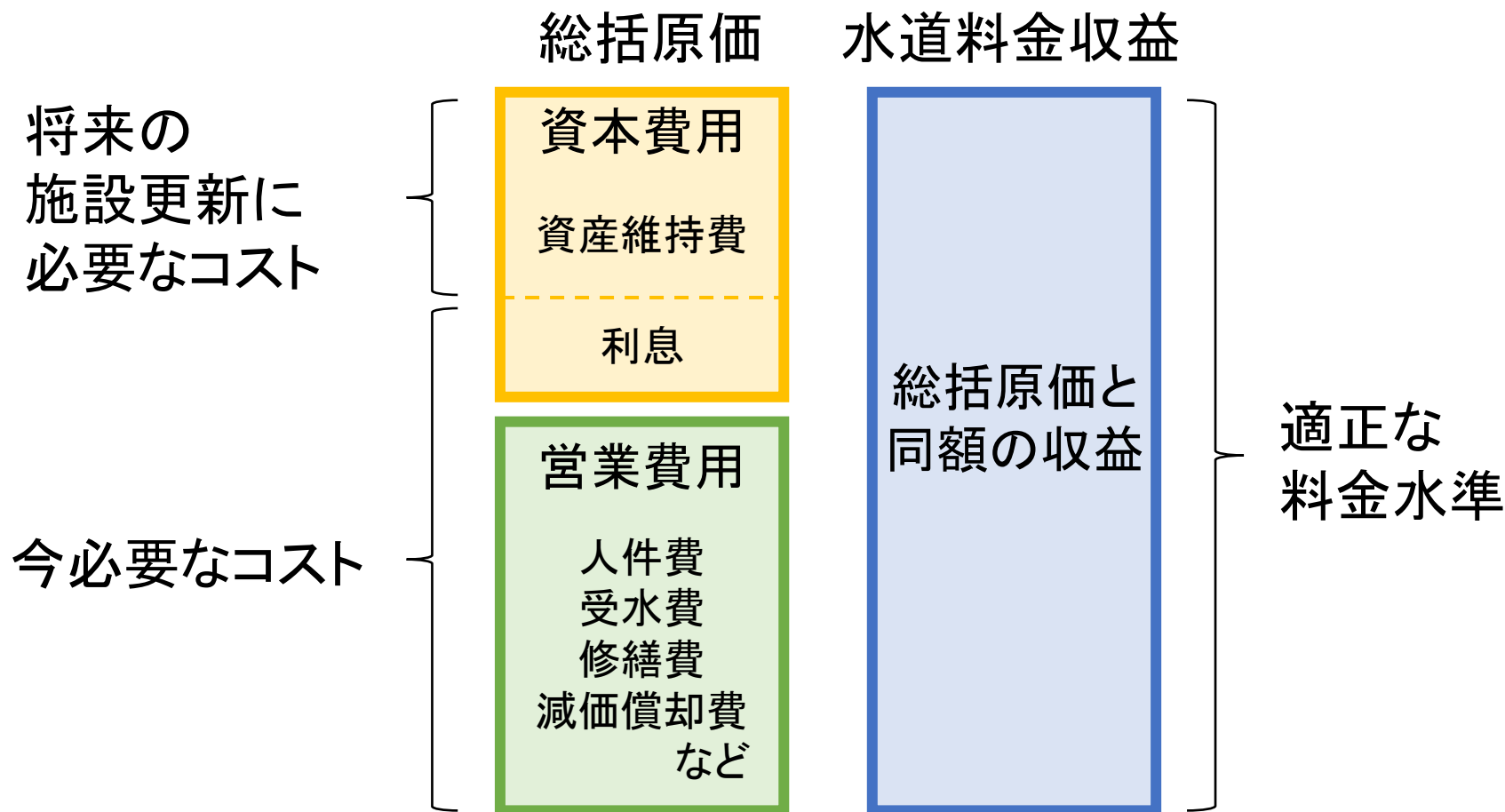
遊休資産を除く償却資産額 × 資産維持率（標準3％）

※ ただし、各事業者における長期的な施設整備・更新計画及び
財政計画等を踏まえて、所要額を計上してもよい。

各事業者の資産維持率の設定状況



総括原価方式のまとめ



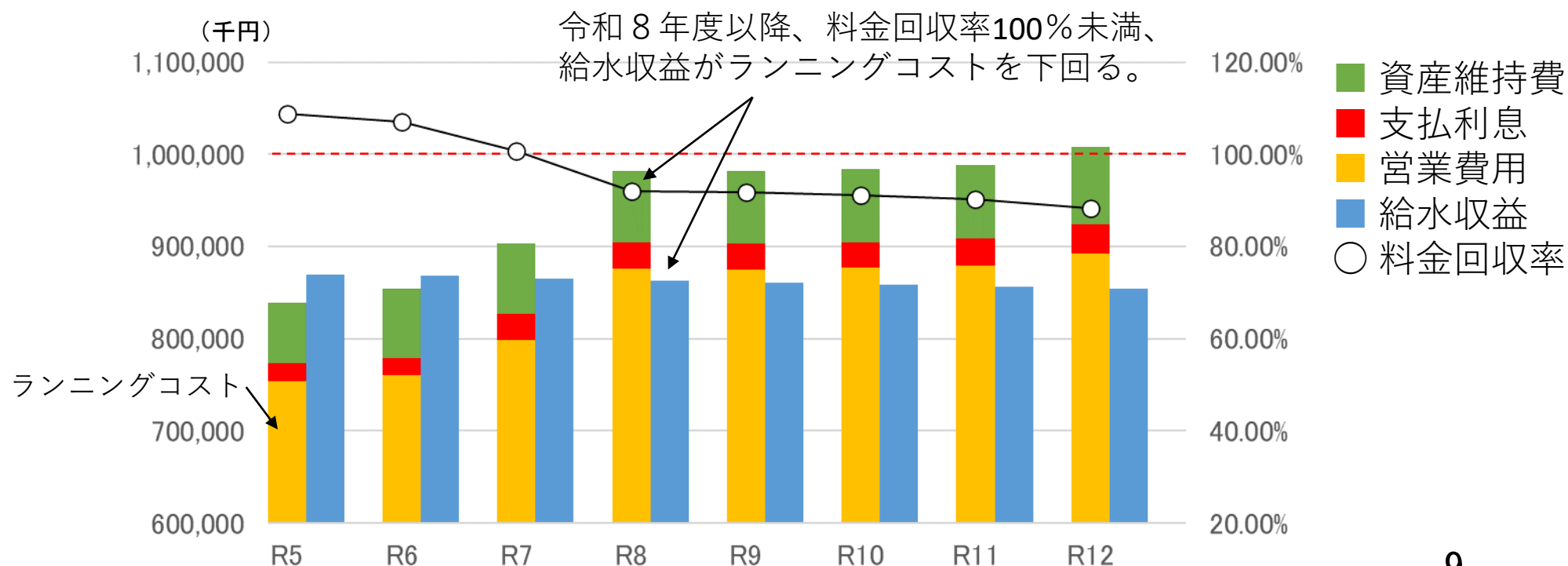
今必要なコストだけでなく、今後の施設更新に必要なコストも考慮するため、適切な料金水準を設定できる。

白岡市水道事業の総括原価の見込みについて

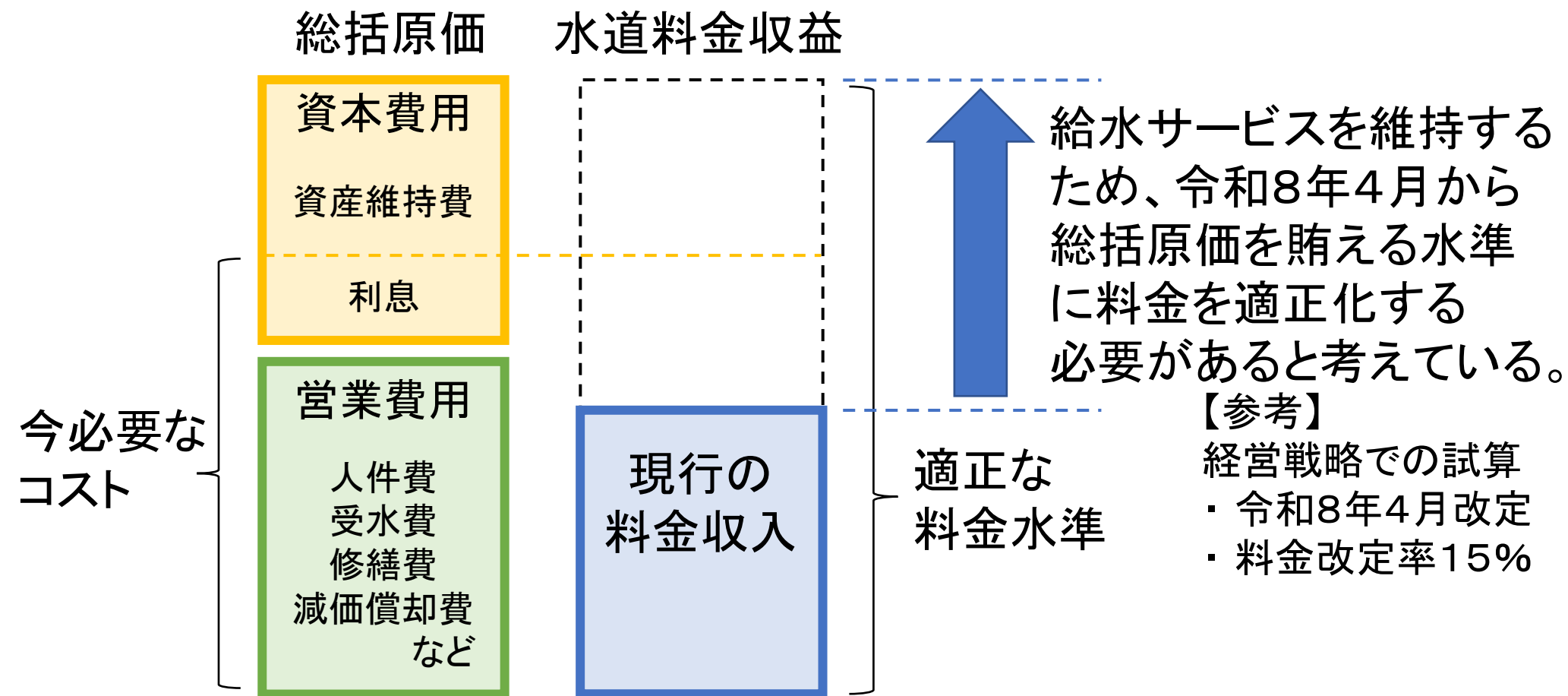
白岡市水道事業における主な費用増加の見込み

- ① 県水受水費の改定(令和8年度)
- ② 浄水場設備更新による減価償却費の急増(令和7年度)

➡ 2つの要因が重なり、料金回収率は100%を下回る見込み
(今必要なランニングコストすら賄えない。)



料金改定(案)について



まずは令和8年度から総括原価を賄える水準に引き上げる改定案を事務局から提示し、審議会で審議していただきたい。

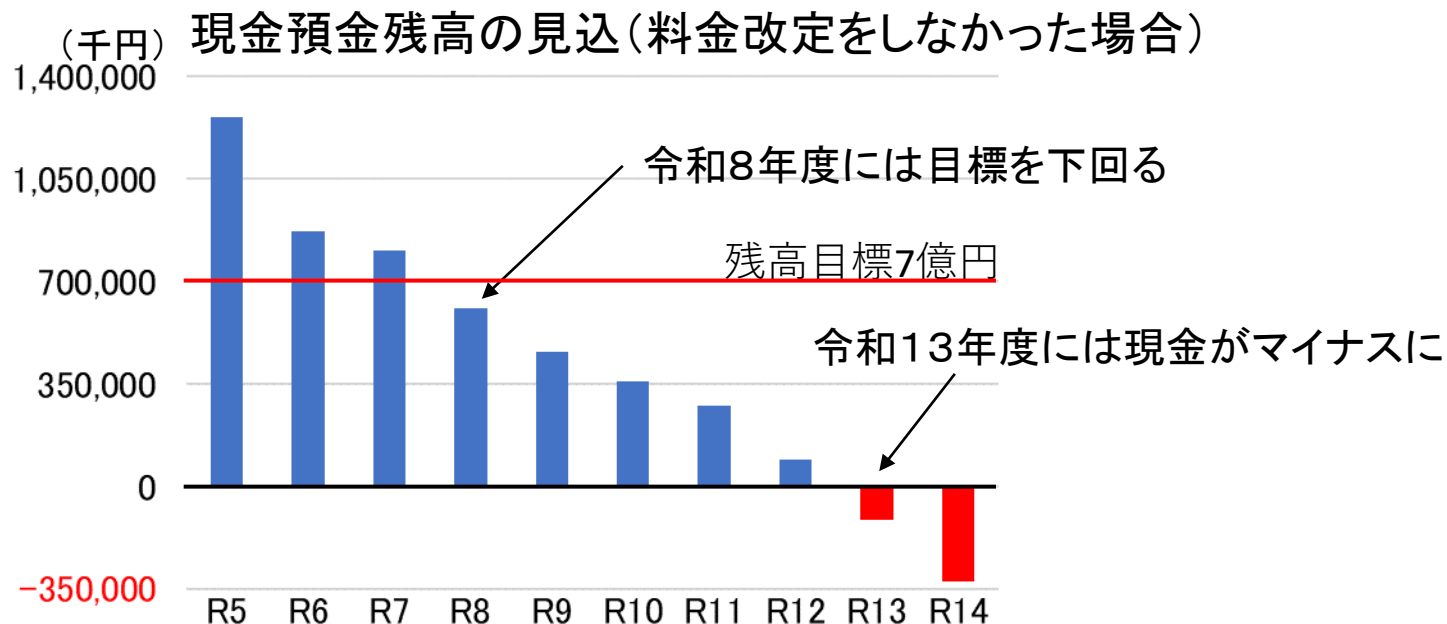
白岡市水道事業の資産の現状について

現金預金

令和6年11月末現在の預金残高は約12億8,500万円

潤沢な資金があるように見えるが…

- ・ 経営戦略では、有事の際への備えとして、現金残高7億円以上を目標としている。
- ・ 現金預金の一部は更新に備えたものだが、浄水場更新工事約10億円の支払いに使用予定のため、今後は大きく減じる見込み。



改定スケジュール

	令和6年 12月	令和7年 2月	4～8月	9月	10月	12月	令和8年 4月
審議会	本日	・諮問 5回程度を予定	【内容】 ・料金水準の検討 ・料金体系の検討 ・答申(案)作成	・答申			
市議会					議会全員 協議会	12月議会 条例改正 案提出	新料金 施行

住民への周知について

- ・広報しらおか
- ・周知チラシのポスティング
- ・市公式ホームページ